

## 秋の飛躍を目指して

茗溪塾塾長 長谷誠基

8月に入り、非常に暑い日が続いています。パリではオリンピックが開催され、毎日素晴らしい競技が続いています。3年前の大会からこの大会までの準備は想像を絶するものがあったと思います。試合の後にその感情が爆発する様子なども見られました。

目指すものに向けての準備という意味では受験勉強も同じことが言えます。しかし、1年後・2年後の受験へ向けて、今何を準備すべきなのかを自分で考えられる人はなかなかいません。そこで塾を利用するのは非常に有効なことだと思います。塾では長年の積み重ねから、どの時期に何が必要かを経験的にわかっていますので、一番重要なものを与えるようにしています。特に今は夏期講習中ですので、受験生は今までの総復習をしながら、弱点の克服や入試問題へチャレンジしたりという日々を過ごしています。また、小5や中2、高2といった次年度の受験の学年は、今まで学習した中で今後重要になる単元を中心に学習しています。また、学校からの宿題なども含めて、学習量を確保し次につながる勉強を進めているところです。

ここで特に受験生を中心にチェックしてほしいことがあります。今、テキストで復習内容であれ予習内容であれ、毎日毎日新しい単元を先生に教えてもらっていると思います。次に自分で解き、できなかったところは解説を聞いて、なるほどと理解はできていることでしょう。しかし、それだけでは身についたことにはならないということを忘れてはいけません。自分で出来なかったところはもう一度自分で解きなおしてみる必要があるのです。今までも分かったはずなのに、模擬試験で間違えてしまったという経験はきっと何度もあるはずです。それは完全に解き方が身につけていないときに起こります。ですから、この講習中に復習の時間が取れているかどうか？これが大きなチェックポイントです。普段の講習中はもしかしたらあまり時間が取れないかもしれません。その場合は土曜と日曜は講習がお休みになっていますので、そこで復習の時間を取りましょう。授業の中で解けなかった問題をもう一度解いて、だめだったら再度質問して、解き方を身につけて下さい。これを行った人とやらなかった人は、必ず2学期になって模試や過去問を解いていくときに、大きな差がついてきます。普段は授業に集中して、週末やお盆の休みのときなどにまとめて復習の時間を取りましょう。

お盆明けには「夏期集中特訓」もあります。各部門が今年の受験生のために講習の合間を縫って準備をしています。その特訓も含めて秋の飛躍を期す夏にしていきましょう。